

アバメクチン乳剤 アグリメック	取扱メーカー： シンジェンタ 原体メーカー： シンジェンタ
成分： アバメクチン〔マクロライド系〕……………1.8% その他 PRTR 該当成分： 2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール (PRTR・第1種) ……2.0%	性状： 淡黄色澄明可乳化油状液体 毒性： 劇物 消防法： 第4類・第2石油類（非水溶性）・危険等級III

【品目特性】 ……………

- ハダニ類、コナジラミ類、アザミウマ類に対し、卓効を示すマクロライド系の殺虫剤である。
- 害虫の抑制性神経系に作用し、害虫は摂食を停止し、行動が緩慢となり死亡する。
- 害虫に対して経皮毒としても作用するが、食毒作用が顕著である。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】 ……………

- 害虫の発生初期に散布すると効果が高い。
- 散布ムラの無いように丁寧に散布する。

【薬効・薬害等の注意】 ……………

- 共通注意事項8. 適用作物群に関する注意事項を参照。

【安全対策上の注意】 ……………

- 医薬用外劇物のため、取扱いには十分注意する。
- 誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせる。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受ける。

- 施設内で使用する場合、窓等を開放し十分に換気してから施設内に立ち入る。

- 自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意する。

- 蚕に対して長時間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、桑に付着するおそれのある場所で使用しない。

- 共通注意事項7. ミツバチに対する注意事項を参照。

- マルハナバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。

○マルハナバチの巣箱及びその周辺にかからないようにする。

○マルハナバチを放飼中の施設では、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、病虫害防除機関の指導を受ける。

- ナメクジ類には食害防止を目的として使用する。

- 魚類、甲殻類に影響を及ぼすおそれがあるので使用時は注意。

- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



